

保二小 テイクオフプラン



理念

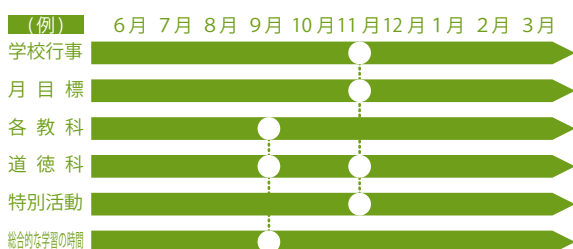
コロナ禍を契機に、指導法を根底から見直し、学習効果が向上しました。自立的な学びへの一層の転換を図り、「自ら伸びる」児童を育成します。

方策

- ① 学習効果を高めて、時間を有効に用います。
- ② 自ら考える手立てをもたせます。
- ③ 生活の場そのものを、学ぶ場とします。

1

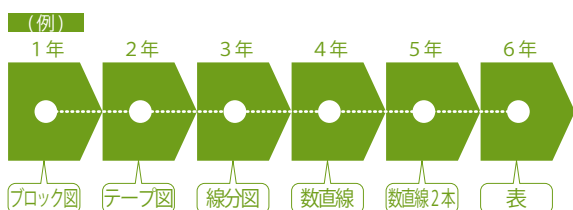
指導内容を横断させ、学校生活全体で深い学びを進めます [横系]



各教科・領域間の連携を深め、さらに生活指導などの月ごとの目標や、学校行事との接続を図り、それぞれの垣根をまたいだ横断的な指導により、学習効果の向上を図ります。

異なる教科・領域を組み合わせた「**複合単元**」の開発を進め、評価基準の設定に着手します。

6年間にわたる課題改善カリキュラムを実施します [縦系]



児童が普遍的に苦手としている内容についての、根本的な課題の解消を図ります。教科書における6年間の内容の系統を模式的に示し、具体的な問題を抽出して、何をいつ、どう教えるかを共有します。児童に、**自ら考えるツール**をもたせます。

2

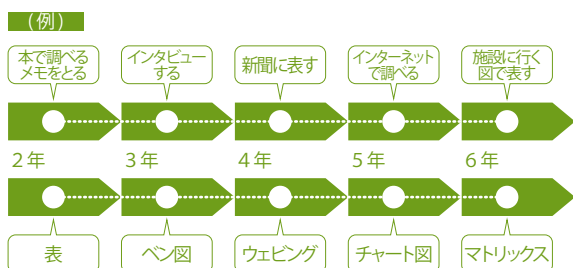
学びの基盤となる基礎・基本の定着を図ります

(例)

国語	成り立ちに着目した漢字の理解
算数	かけ算九九・倍の概念
社会	47都道府県の名前と位置

主体的な学習を支える、基礎・基本の定着を図ります。そのため、個人内評価を重視し、児童個々の「伸び」に着目します。全校規模の力だめしの定着度を**個票**に示し、進歩の見える化を図ります。**モジュール型学習**で、週3日の機会を担保します。

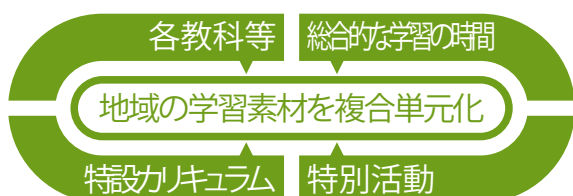
タブレット端末を用いた自立的な学習活動への転換を図ります



自立的な学習活動のために、タブレット型端末を文房具として駆使します。国語科の教科書の編集方針を基盤として、「**調べ学習**」「**思考ツール**」のカリキュラムを特設して、調べる力・考える力の獲得を図ります。教室での対話的な学びを支えるべく、事前調査を家庭で行う「**反転学習**」を進めており、「こども議会」等の実施に結実しています。

3

教科「市民科」を通して、地域教材による発展的な学びを進めます



地域の学習素材を、関連する内容の各教科等と横断させて複合単元化し、「**市民科**」と位置付けました。リアルな題材での発展的な学習を通して、「深い学び」の実現を目指します。**コミュニティ・スクール**として、地域社会との協働の要です。